



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2018-2019 年度
11月号
NO. 350

〒136-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL 03-3615-5565

強調月間

ワイス理解
ファミリーファスト

国際会長：Moon Sang Bong (韓国) 主題「私たちは変えられる」
アジア地域会長：田中博之 (東京多摩みなみ) 主題「アクション」
東日本区理事：宮内友弥 (東京武蔵野多摩) 主題「為せば、成る。」
関東東部部長：衣笠輝夫 (埼玉) 主題「良いものを見つけ・つなげて、よくなる」
東京ひがしクラブ会長：金丸満雄 主題「楽しもう ワイス!!」

～ 強調月間 ～

★ワイス理解 (ワイスデーにちなんで)

東日本区書記 板村哲也

1928年11月10日に、日本で最初のワイズメンズクラブ「大阪ワイズメンズ倶楽部」が国際協会に加盟を認証された。日本区(当時)ではこれを記念して、1993年にこの日を「ワイスデー」と決めました。日本にワイズメンズクラブが誕生して90年。

ワイズの理念は、いかに時代が変化しようとも決して変わるものではない。しかし時代や社会の変革の中でワイズの働きの内実、活動方法は絶えず問い直され、新しい課題にも取り組んで行かなくてはならない。今までの慣例に捉われず、勇気を持って斬新なアイデアと行動への取り組みが必要ですね。

★ファミリーファスト (FF) とは

東日本区国際・交流事業
主任小原史奈子

「ファミリーファスト」は、日本の「ワイスデー」11月10日を記念して、2000年より始まりました。家庭での食事を節約し“おかずを一品減らして”1人500円を目標に献金を呼びかけた、日本独自の事業です。ファミリーファストとして集めた献金は、東日本区はHIV/AIDS事業への取り組みの為に用いられます。皆様のご協力をお願いいたします。

(理事通信 11月号より)

11月例会

と き 2018年11月8日(木)
PM6:30～8:30
ところ 東陽町センター1階 YMCA ホール

受付：鮎澤正和
司会：高野真治

プログラム

開会点鐘 会長 金丸満雄
ワイスソング/ワイズの信条
開会挨拶 金丸満雄
食前の感謝
今月の誕生日・結婚記念日
クラブシンキング
スマイル/各種報告
閉会点鐘 副会長 飯田歳樹

🛡️ 今月の聖句 🛡️

『刈る物は報酬を受けて、永遠の命に至る実を集めている。まく者も刈る者も、共に喜びのためである。』

—ヨハネによる福音書第4章 36節—



10月例会

出席者 23名 ネット 名
会員出席数 8名 ゲスト 15名
在籍数 12名 メンバー 1名
(広義会員2名)

ひがし会員出席率 90%

スマイル

10月 24,000円

累計 41,500円

2018-2019 年度役員

会長 金丸満雄
副会長 飯田歳樹
書記 須田哲史
会計 鮎澤正和
担当主事 沖 利柯

10月例会(ひがし 30歳を祝う)

10月例会は、ひがしクラブ 30歳を祝う会として、ひがしクラブが誕生した同日の10月23日東陽町センターにて、ひがしを退会したOBの方を招いて開会した。開会点鐘のあと久しぶりのワイスソングも、戸惑うことなく皆さん歌われ、賑やかな当時は思い浮かべるシーンであった。食前の感謝は野沢さんをお願いし、続いてひがし関係の亡くなられた方々を偲び、本行さんに発声をお願いしワインで献杯を行った。いつもよりちょっと奮発した弁当を食べ、ワインを飲み懐かしいメンバーと暫し思い出話。また、これまでのワイス活動スナップをムービーに編集して映し、懐かしい場面の画像に一喜一憂の時を過ごした。

周年記念を大きな集いで行う選択肢もあるが、今回ひがしクラブはクラブを退会したOBの皆さんを招いて、アットホーム的な集いとしてクラブ30歳の誕生日を祝うことを選択した。音信不通のOBには連絡が出来なかったが、呼びかけにOB9名・ネット2名・元担当主事1名・Y職員3名の皆さんに出席いただき、賑やかに和やかに誕生日を祝うことが出来た。最後にひがしクラブ入会の案内パンフを配り、OBの皆さんに再入会をお願いし飯田副会長の閉会挨拶で30歳を祝う例会は終了した。



区民まつり奮闘記

沖 利柯

今年も10月20日(土)、21日(日)の二日間「江東区民まつり」に、ひがしクラブとYMCAダイビングクラブで模擬店を出店しました。当初は例年通りクレープとかき氷で勝負！と考えていましたが、今年の天候による惨敗を考え、今年は焼きそばとポップコーンで勝負することになりました。ところがなんと、左隣と一軒おいた右隣も焼きそばを販売することが前日に判明、また当日の天気はピーカンで、がっくり肩を落しました。

それでもめげずに、飯田さん製作の特大鉄板で、江東クラブで腕をみがいてきた草分さん指導のもと、焼きそばを焼き続けました。初日は主に金丸・飯田ペア。2日目は少しだけ若返って堀江・山口ペアの奮闘です。隣の店の方からも「この鉄板すごいねえ。これじゃあ歯が立たないよ。」などと言われ、勢いづいて2日間で1,500食を完売。千代さんや木村・菅野さんが頑張ったポップコーンも、休むことなく最初から最後まで作り続けて大奮闘！

2時をまわるころから、タイムセールと銘打って販売価格を夫々50円下げたところ、あっという間に長蛇の列ができたのには、流石に驚きました。人間の心理

とは恐ろしいものです。販売当初「かき氷だったら良かった・・・なあ」という思いが頭の中から消えなかったのですが、さすが金丸会長から「かき氷のことはもう忘れるの！」と檄を飛ばされ必死で作り、盛り、売りさばいた二日間。

みなさま本当にお疲れ様でした～。また助っ人に来てくださった江東の小松さん、ラジャさん、飯田ファミリーにも感謝感謝です。



YMCAコーナー

担当主事 沖 利柯

▼会員ソフトボール大会

10月8日「第35回オール東京YMCA・近隣YMCA会員ソフトボール大会」が開催され、各部のリーダー、幼稚園児の保護者、専門学校の学生や留学生、職員ほか、近隣のYMCAや賛助企業からも参加がありました。12チーム275名がスポーツを通じて交流を深めました。

▼西日本豪雨災害支援報告

広島YMCAは安芸区のボランティアセンターと協力して支援活動を行っています。東京YMCAから9月10日～14日に派遣されたスタッフ2名と9月24日～28日に派遣されたスタッフ2名から、いまだに困難な状況にある現地の様子や、家屋の泥だしなどの作業の実際、ワークを通して感じたことなどが報告されています。引き続き全国YMCAが協力して、2,500万円を目標に募金活動を継続していますので、ご協力お願い致します。

▼第20回ソウル・台北・東京

YMCA指導者協議会(STT)

10月24日～26日に、ソウルYMCAを会場に第20回STTが開催されました。東京YMCAからは会員・職員計8名が参加し、ソウル、台北、東京の各YMCA合わせて約40名が集いました。「北東アジアの平和と安定-YMCAの役割」のテーマのもと、基調講演、各YMCAからの報告等が持たれ、課題とアイデアが共有されました。

▼クリスマスオープンハウス

12月23日(日)に恒例のクリスマスオープンハウスが実施されます。11月9日(金)開催の実行委員会から本格的スタートとなりますが、今年も宜しくお願い致します。ロビーへの献品ボックスは11月26日(月)～12月14日(金)まで設置予定です。その後値つけなどの作業がありますので、短い時間でもお手伝いいただける方、大歓迎です。宜しくお願い致します。



★今月の誕生日

沖 利柯さん	(17日)
鮎澤正和メン	(18日)
金丸満雄メン	(21日)
奥峪 カメン	(22日)
鮎澤範子ネット	(30日)

